

第4回アドバイザーボード会議ステートメント

- 我々「沖縄県新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード」は、知事の命を受け昨年7月から各分野の代表者により議論を重ねてきた。当初は、如何にして感染拡大防止と社会経済活動の再開を整合させるのかを論議し提言してきた。
- 今年に入り5類感染症への移行が決まり収束が見えたところからは、“沖縄社会”がコロナ禍を経験し学び得た課題について議論・整理し、ポストパンデミックの“新たな沖縄社会”の構築に向けた方向性を追求するに至った。
- 課題としては、「医療・介護体制の再構築」「観光産業への影響の甚大化」「デジタル技術活用の遅れ」そして「社会・人々の心に受けた痛み」の4点に整理した。
- また、本アドバイザーボードにおいて、社会を構成する各分野の代表が、同席して対策を議論することの意義と有効性を確認できたことは、非常に有意義であったことを強調したい。県においては、この経験値を礎として”新たな沖縄社会”の構築に向け、各種施策を総動員して取り組むべきであることを提言する。